

洋書輸入協会会報

VOL. 23
NO. 10

(通巻270号) 1989年10月

理事会報告

9月11日(月)

(一) 理事長の交替

飯泉新吾氏に代って海老原熊雄氏(丸善株式会社社長)が6月30日付けで理事長に就任したことが報告された。

(二) 7月・8月分収支計算・予算対比表

柴田事務局長の報告が承認された。

(三) 退会

賛助会員日本フィルムスキャン株式会社(代表者 鈴木伸介)が賛助会員ロングマン・ペンギン・ジャパン株式会社(代表者 酒井忠男)に合併のため、6月30日付けで退会することが報告され、承認された。

(四) 委員会委員の変更

マテマティカが広報委員会のみに、ロングマン・ペンギン・ジャパンが経営研究委員会のレブ部会、ELT部会および文化厚生委員会に参加し、その他を辞退したことが報告され、承認された。

(五) アメリカ大学出版協会年次大会

1990年6月フィラデルフィアで開催される同協会の

年次大会に、JBIA 代表団を招き、日本の市場につき学び、意見を交換したいという手紙が同協会国際マーケティング委員会の委員長 Gayle A. Treadwell 氏(ハーヴァード大学出版局)から JBIA 小林英一理事長代理にきたことが報告された。討議した結果、積極的に対応し、会員にしらせて参加希望者をつのることとなった。(JBIA No.579参照)

(六) 洋書まつり

事業委員長前橋康弘氏(中央洋書)から10月20日(金)、21日(土)の両日開催される洋書まつりの予算について提案があり、予備費から支出することとなった。

(七) 渉外委員会主催セミナー

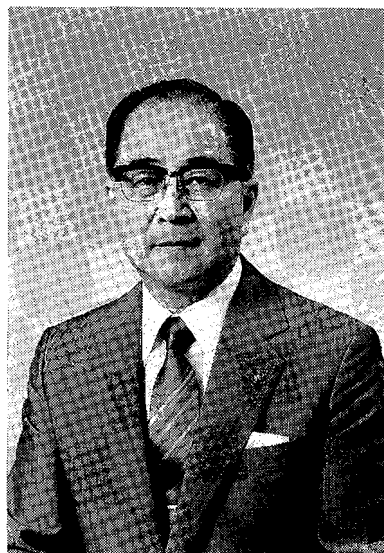
9月21日(木)2時から東海銀行日本橋支店において「CD-ROM データベースの現状と将来について」セミナーを開催することが委員長山川隆司氏(ユサコ)から報告された。

(八) その他。

理事会報告……………	1	流通シリーズ		洋書輸入協会史(46)……………	5
海老原熊雄氏理事長に就任……………	2	第5回 ASP と SAL ……………	3	文化厚生委員会だより	
海老原熊雄新理事長		第2回 JBIA セミナー……………	4	72会 第52回ゴルフコンペ ……	7
就任の挨拶……………	2	文化厚生委員会だより		総代理店ご案内……………	7
飯泉新吾前理事長		フォーティ・ラブ夏の集中練習会…	4	計 報……………	7
退任の挨拶……………	2	社名変更のおしらせ……………	4	広 告……………	8

海老原熊雄氏理事長に就任

6月30日付けで理事長飯泉新吾氏（丸善相談役）が辞任し、新たに海老原熊雄氏（丸善社長）が理事長に就任されました。飯泉前理事長は16年の長きにわたって、洋書輸入協会を代表し、その指導にあたってこられました。長年のご苦勞に対して厚くお礼申し上げるしだいです。洋書業界がいわば転換期を迎え、極めてむづかしい状況のもとにあるいま、海老原新理事長のご指導にまつ点が多々あることと思います。新旧両理事長からご挨拶をいただきました。（会報委員会）



海老原熊雄新理事長就任の挨拶

このたび、丸善株式会社飯泉新吾会長の相談役就任に機会に、私が洋書輸入協会の理事長の任を引き継ぐことになりました。

前理事長は、昭和49年に就任されて以来今日まで16年の長期にわたり重責を担われ、業界の発展に貢献されました。会員の皆さまとともに心から謝意を表する次第です。

さて、洋書輸入協会の創立（当初「海外出版物輸入同業会」と称しましたが）は昭和16年ということですから、ほぼ50年になろうとしています。この半世紀を刻んだ協会の歴史は、日本の学術文化の発展に洋書を通して貢献してきたという自負はあるものの、その流れは決して順調なものではなかったと理解しています。幾つもの課題や難しい問題に直面し、それを協会として、あるいは会員個々の努力によって解決の道を探り、乗り越えてきたわけですが、その努力にも拘らず、洋書の市場はますます厳しさを増してきていると言えます。洋書の需要逼迫の原因はなにか、現在洋書がぶつかっている問題はなにかを挙げることは容易です。しかし、かつてない難局に当面しているいま、洋書はどの道をどういう方法で進んでゆくかを、一度基本から問い直してみる必要があるのではないかと思います。

会報に連載中の「洋書輸入協会史」は、日本の洋書業界の大変貴重なドキュメントとして毎号愛読していますが、その中にある、例えば戦後の洋書輸入再開までの先

輩達の血のにじむような努力、また、業界再建と拡大へ向けての苦しい戦いの日々を知ることができます。この洋書輸入の歴史を作ってきた先輩達の姿を改めて見つめながら、いま決意を新たに会員の皆さまと力を合わせて業界の存続、発展に邁進することを念願としています。

会員の皆さまの叡知とご協力をお願いしてご挨拶いたします。

飯泉新吾前理事長退任の挨拶

このたび理事長を退任するにあたり、会員の皆さまに一言ご挨拶申し上げます。

私が理事長の大任をお引き受けいたしましたのは昭和49年ですので、在任は16年の長きにおよびました。その間、この重責を何とか果すことができましたことは、偏に会員の皆さまのご協力、ご支援の賜物と心から感謝申し上げます。次第です。

思えば、この16年は洋書業界にとって辛苦の歳月であったとの印象をもっております。昭和49年といえば、前年のオイルショックに端を発した狂乱物価を契機として、政府の総需要抑制策が実施に移され景気の低滞が始まった年でした。医科系を中心として活発であった大学の新増設、いわゆる特需もほとんどその姿を消して、洋書の需要が急激に減速を始めました。以降、引き続く低

流通シリーズ

(第5回) ASP と SAL



成長施策にもとづいた政府予算のゼロ・シーリング、ないし、マイナス・シーリングによって洋書市場は低迷を続ける状況となりましたが、特に学術書籍の落ち込みが大きく、この分野に圧倒的シェアを持つ日本の洋書業界にとっては、正に苦悩の時代であったわけです。そういう需要の動きと同時に、この間、昭和51年の公正取引委員会の勧告問題を始めとして、“Chemical Abstract”の輸入取扱いをめぐる化情協との論議、激しい為替変動への対処、外資系業者への対策、消費税への戦い、等の大きな出来事に直面しましたが、そのまことに多事多難であった16年を、いま、苦汁を嘗める思いでふり返っています。

しかし、洋書にとっての苦しい環境はけっして終わったわけではありません。むしろ、一層激しさを増してくるものと思います。私は以前、皆様に「競争の限界」ということを申し上げ、業界のあり方に一つの提言をした記憶がありますが、業界全体の繁栄こそが会員の繁栄につながるものであり、その目的に向けての会員全体の結集こそが、いま一番必要とするものです。一致協力して業界の発展に邁進されんことを祈念し、簡単ですが挨拶を終わります。

8月号に、米国から海外へ印刷物を安く送るシステムである ISAL についてご説明致しましたが、この ISAL のもとになっているのは、英国の ASP 及びオランダの SAL であることは、改めて申し上げる必要がないと思います。このシステムは開発されてから既に10数年経っており、すっかり定着しております。

ASP (Accelerated Surface Post)

ASP はイギリス郵政公社が1972年より開始したサービスで、印刷物を欧州以外の国に安く、早く送るシステムです。当時日本から英国に送られる航空貨物は多かったが、逆に英国から日本への貨物は少なかったし、又、英国は国策として書籍、雑誌の輸出を奨励していた為、これらを航空貨物として日本へ送れば一石二鳥であると言う訳で、このシステムが開発されたとも云われています。このシステムの最大の特徴は集荷システムです。ASP の利用者は郵政公社が用意する郵袋に郵便物をつめ、タグを付けて郵便局に届けるので、郵便局では仕分けの手数がはぶけ、そのままロンドンやマンチェスター等の交換局を経て国際空港へ送ることができる訳です。そして通関後英国航空によって目的地へ空輸されます。このシステムが開発された翌年、すなわち1973年には Pergamon Press 社が利用を始めました。スタート当時は送本方法の一方的変更によって予約価が大幅に上がったと言う読者からのクレームもありましたが、今では多くの出版者がこのシステムを利用しており、日本に入ってくる英国の定期刊行物はその半分位が ASP で届けられているものと思われます。利用料金は公表されておらず、利用者との間で行なわれる契約にもとづいています。

SAL (Serface Mail Air Lifted)

オランダ郵政庁が実施しているシステムで、スキポール空港までは陸送で、そのあとはオランダ航空を利用した航空貨物便です。オランダ最大の出版社、エルゼビア社は1974年よりこのシステムを利用して出版物を日本に送ってきています。郵便局までは利用者が届けると云うのが SAL 利用の条件とされていますが、オランダのエルゼビア社の倉庫には、郵便局の車が集荷にきており、エルゼビア社の係員によって宛先地別に分けられ、そし

て郵袋につめられた出版物は直接その車に積み込まれております。重量のチェック、料金の計算はエルゼビア社側で行ない、その計算にもとづき支払いを行っているとのことです。他の大手出版社クルーワー社にも集荷の為の車がくるとのことです。大手の利用者に対する特別のサービスと思われます。(丸善(株)尾内記)

第2回JBIA セミナー

9月21日、第2回JBIA セミナーが日本橋の東海銀行会議室で開催されました。前回のテーマは「著作権について」でしたが、その際、出席者の皆様にお願ひしましたアンケートの結果に従い、ニューメディア関連ということから、「CD-ROM データベース」をテーマとして選び、ユサコ、紀伊國屋、丸善の3社が協力し、42名の参加者を前に講演とCD-ROMの実演デモを行いました。

セミナーは、山川渉外委員長の司会で進行し、ユサコの松山氏よりCD-ROMを見るために必要な機器について、紀伊國屋の木本氏は、内外のデータベースの現況とCD-ROM商品に関して、丸善の伊藤氏よりCD-ROMと図書館の機械化との関連などについて、それぞれ3氏が、日頃の経験に基づいた具体的な講演を行いました。講演の後、3社が用意した機器により、実際に各種のCD-ROMを約1時間にわたり操作実演を行いました。聴講者の皆さんはCD-ROMに身近に接するのは今回が初めての方が多く、熱心にご覧になり、その即効性と便利さは大きな関心と呼び、利用方法と将来性について数多くの質疑が交わされました。海外書誌データは米英独仏の各国それぞれのCD-ROMが出そろい、我々洋書輸入業者としてはCD-ROMの使用が一般的になる日も近いのではないかと、そのために今回は、業界の若手を対象に実習セミナーを開催してはとの声もあり、当セミナーは、成功裏に終わりました。(丸善・古賀)

社名変更のお知らせ

旧社名: Collier Macmillan International
新社名: Maxwell Macmillan International
Publishing Group

文化厚生委員会だより

フォーティ・ラブ(テニス同好会)

夏の集中練習会報告

8月19日(土)に定例の“夏の集中練習”が成城グリーンプラザで行われました。参加された愛好者数は、6年前に一日合宿が計画されて以来の最高で、延“48名”となり、幹事の方々を慌てさせる程の盛会となりました。幹事の皆さんのお計らいで、予定の2面の隣接クレイコートが1面、午後2時まで使用可能となり、初心者講習会も、一般のプレーも、満足のゆく一日になりました。

今回は、日貿、ロングマン・ペンギン、洋販等より、元気はつらつのマドモアゼルが多数参加され、特に花やいだ雰囲気に包まれていました。

天候が不安定な時期でしたが、バーベキュー前の一雨がよいお湿りとなっただけで、一日全員がよい汗を充分流していました。

“フライパンに、さじ一杯分の食用油がついているのを洗って流すと、魚がすめる水質にまで薄めるのに、一般家庭の標準浴槽に十杯以上もの水が要るそうだ。”(朝日新聞、天声人語、9月12日)農薬ずけ、添加物ずけ、環境悪化等、私達の健康に影響する不純物に取り囲まれた現在の生活の中で、“汗”はそれ等の好ましくない不純物を体外へ排出してくれる有効な代謝作用であると聞きました。いつまでも健康で、がんばりのきく身体を維持できるよう、よい汗を沢山流しましょう。次回は、秋の合宿でお目にかかるのを楽しみにしています。

(OBのR.A.記)

社名および住所変更のお知らせ

旧社名: International Thomson Publishing-
International Division

新社名: Thomson Publishing Japan A Division
of the Thomson Corporation Far East
Ltd.

新住所: 〒102 千代田区平河町1-7-11

平河町根本ビル6F

(Tel. Fax. 番号は変更ありません。)

洋書輸入協会史 (46)

洋書輸入協会顧問 相良廣明

53 画集の物品税撤廃の陳情

53.1 画集に物品税が課せられたこと

昭和31(1956)年6月15日施行の通達第7号によって、物品税に関する従来の通達が変更され、輸入税が免除されていた画集の一部に、物品税(20%)だけが課税されることとなった。

このために明治書房や東光堂などを始め、関係業者の業務に支障を生じた。そこで10月23日に同業会の懇談会を開いて、中央郵便局東京税関出張所長及び係長に出席を願い、説明を聞いた。

これに基づき検討を重ねた上、11月1日に理事一同と明治書房とで国税庁の間税部消費税課物品税係を訪問し、当方の事情を説明した。このとき、平凡社と外2社の国内の美術関係出版社から、画集の物品税撤廃の要望が、前日の10月31日に提出されていたこと、及び国税庁側はこれにより審議中である旨を知り得た。

理事会としては、この情報により、田辺氏と戸泉氏とが平凡社の磯取締役を訪問して前後の事情を聞き、要望書のコピーも入手することが出来た。そこで、海外出版貿易の南雲氏に依頼して、これらを参考としつつ同業会としての要望書を起草して貰った。

12月10日には起草された文案を審議した上で清書し、13日に国税庁を訪問、これをメモの形で提出した。この要望書は当時の美術書に対する考え方を良く現わしているので、全文を次に掲載する(昭和31年12月18日付、海輸第165号所載)。

53.2 画集の物品税撤廃に関する要望書

国税庁長官 渡辺喜久造殿

昭和31年12月

海外出版物輸入同業会

従来一般の書籍と同様に取扱われてきた絵画を集録した「画集」の一部が、昭和31年6月15日施行の通達第7号により、観賞用と看做されて課税されるようになりましたが、其の内には観賞用として取扱うことが妥当でないものが多く見受けられます。

吾々海外出版物輸入業者が、今日観賞用として考えておりますものは、一枚一枚になって印刷された絵画で、書籍体に集録された所謂「画集」は、書籍として取扱って来ました。

種々雑多な絵画が系統的に集録されたものを、果して観賞用と言えましょうか。此の内一枚でも取りはがせば、集録された画集としての価値はなくなります。観賞する目的なら低廉な価格で一枚一枚の印刷した絵画が購入出来るので、書籍の形体を損傷してまでも取りはがす必要はありません。

要するに画集とは、或る特定作者の作品集又は全般的に年代別に集録されたもので、作者及びその作品の研究及び美術の教育をする目的で刊行されており、観賞用とは自ら其の目的が異なっているものですから、観賞用と見做さず、課税の対象から除外して頂きたいと要望します。

尚近年印刷術の発達は、一時に10種位の色彩印刷が可能となり、従来の見方では時代に合わないと考えますので、この機会に海外出版物輸入業者の立場から、課税・非課税に一応限界を定めて頂きたい、次のように提案致します。

記

一、課税の対象になるもの

イ 観賞用と看做される印刷された一枚一枚の絵画又は写真。但し外国の郵便葉書の大きさのもの、又はそれ以下のものは除く。

ロ 綴じ込みでなく、外被(たとう)で覆われている印刷された一枚一枚の絵画又は写真で、観賞用と看做されるもの。

二、課税の対象にならないもの

取り外しが出来ぬ様、書籍体に集録されている画集。

(以上)

53.3 画集の物品税免除の目安決定

昭和31年12月21日付、海輸第166号によれば、陳情の結果を次のように会員に知らせている。

記

画集の物品税免除について

18日附海輸第165号を以て御通知申し上げました画集の物品税免除につきまして、昨20日国税庁より「書籍の形式如何を問わず絵画が主体であって、これに絵画の題材、題名、作者名、及びその生年月日、死亡年月日、その他履歴、並に製作場所、製作時期、作品所蔵者名等のみ記載あるもの」に課税する事と決定し、明年1月1日より実施されることとなった旨、通知がありましたから左様御了承下さい。

従ってこれ以外の記事、記載のある画集は、大体書籍として無税になることとなりますから、お含み置き下さい。(以上)

以上で、一見迅速に我々の言い分が通ったようであるが、実は平凡社などの国内美術出版社側が既に何度も陳情を行っており、また国税庁側も早くからこの問題を検討していたためであり、結果的には大変円滑に進行したこととなった。

54 昭和31(1956)年度(s31.4月～s32.3月)の規約改正、理事改選、新入会員、退会者など

54.1 規約改正、理事改選

昭和31年5月23日の同業会総会において、理事1名増員の件が提案され可決された。但し目下関西支部長が理事を辞退中であり、今年も梅田書房今村氏から辞退の旨が確認されたので、規約としては改正されないこととなった。

理事改選については、投票の結果次の通り。

丸善株式会社	代表者	司 忠 氏
紀伊國屋書店	〃	田辺茂一氏
教文館	〃	北村徳太郎氏
福本書院	〃	福本初太郎氏
国際書房	〃	服部正喬氏

以上再選

新任

海外出版貿易株式会社 代表者 黒田 通氏

なお理事長には、丸善株式会社が再選された。

54.2 新入会員

(1) 三洋出版貿易株式会社 港区芝西久保桜川町 8

代表者 鈴木常夫 創立 昭和31年7月25日

資本金 100万円 従業員数 5名

京都営業所 京都市中京区二条河原町西入

昭和31年10月20日付、海輸第156号により会員に通知

寮歌祭と共に在った鈴木常夫氏は三高、京大の出身、復員後京大に復学中に神陵文庫を設立、その後紆余曲折を経て三洋出版貿易を創設。創設時は鈴木氏の他、立島氏(元専務)、武田氏(現常務)、新谷氏(現取締役大阪営業所長)、成沢氏(現経理部長)の5氏で、直後に入社した松倉氏(現三洋情報システム社長)、関氏(退職)を加えると、まさに7人の侍といったところであった。

創立記念日に全社員で富士登山を行い、すっかり名物化してしまうなどのように、鈴木氏の人柄は豪放かつ人情に厚く、昭和46年には紅萌ビルを完成させるなど一路奮進中であったが、惜しくも昭和56年3月、寮歌祭に参加中急逝された。しかしその志は、後継者の伊部利秋氏を中心とする固い結束によって引き継がれ、今日に至っている。

(2) 東京出版販売株式会社 千代田区九段 1-7

代表者 池辺 伝 創立 昭和24年9月

資本金 29,000万円 従業員 1,411名

昭和31年11月30日付、海輸第162号により会員に通知

昭和31年に、旺文社が洋書の取り扱いを止め、東販がその在庫を引き取ったのを機に洋書の取次を始めたもの。同社の江戸川営業所海外課の名前で、同業会に入会された。以来昭和59(1984)年12月31日に退会するまで、同社と洋書や公認リプリント版の販売配給で取引関係を持った洋書輸入業者、及び和書小売店は数多くあると思われる。

(3) 有限会社第三書房 千代田区神田猿楽町 2-6

代表者 藤井輝子 創立 昭和20年12月

資本金 200万円 従業員 12名

昭和31年12月12日付、海輸第164号により会員に通知

第三書房の前身は、外語学院出版部といい昭和7年の創業で、仏独の教材、参考書の出版社として著名であった。戦後現社名に改められ、昭和28年に当時お茶の水にあった三笠書房洋書部の輸入業務をそのまま引き継いだ。三笠書房は、「風と共に去りぬ」の翻訳出版で有名なところ。

三笠書房の洋書部からは担当の旧姓二神（ふたかみ、後に砂田と改姓）女史も同時に招き、昭和40年代に、現担当の向山（さきやま）女史に引き継がれた。一貫してフランス書の輸入に携わっておられる。（続く）

文化厚生委員会だより

72回 第52回ゴルフコンペ

6月に霧のため流れた52回コンペが7月20日、鶴さんのホームコース高根カントリークラブで行われました。今回は常連後藤さん（マックスウェル マクミラン）に加え、小関さん（名著普及会）、足立さん（エルゼビア）、鶴夫人と紅4点をまじえなごやかに。この日は後藤さんと一緒にスタートした吉本さん（紀伊國屋）、終始ニコニコ、ゴルフも絶好調、プレイ終ってみればブッチギリの優勝でした。

優勝	吉本明城（紀伊國屋）	47.49	Net 68
準優勝	大野 俊（丸善OB）	42.40	Net 74
3位	渡辺正憲（洋 販）	48.48	Net 76

ベスグロー大野 俊 82

ドラゴンー中村 勲 独占

ニアピンー佐久間貞昭、内山芳正

(S.W)

総代理店ご案内

ユサコ株式会社

Tel. (03)502-6473

Fax. (03)593-2709

Riecanaky Science Publishing Company (GB)

- (1) Adv. in Special Electrometallurgy
- (2) Metallic Materials
- (3) Physics & Chemistry of Materials Treatment
- (4) Technical Diagnostics & Nondestructive Testing
- (5) Metallurgical Journal

FID : Fed. Internationale d'Information et de Documentation (NL)

- (1) FID News Bulletin
- (2) Int'l Forum on Information Documentation (IFID)
- (3) Newsletter on Education & Training Programmes for Information Personnel
- (4) FID Directory 1989/90
- (5) P-Notes
- (6) Extensions & Corrections in the UDC

Canal Press (GB)

- (1) Cardioscience

The Canadian Medical Association (CA)

- (1) Canadian Journal of Surgery
- (2) Canadian Medical Association Journal
- (3) Human Medicine

計 報

フェファー・アンド・サイモンズ、ベーカー・アンド・テラー株式会社 日本代表 牛尾三郎氏は9月20日心不全のため急逝され、9月21日、藤沢市の湘和藤沢会堂において葬儀がとり行われました。享年63歳。ここに謹んで哀悼の意を表します。

日本総代理店

MARUZEN

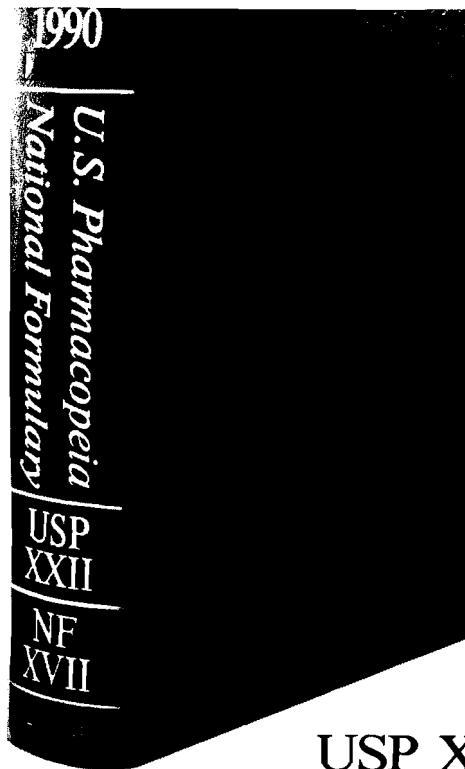
権威と歴史を誇る

The United States Pharmacopeia

The National Formulary

『米国薬局方』/『国民医薬品集』

最新版 入荷!!



1990

■年間購読料

New/

新規ご注文: ¥43,000 (消費税別)

(本体USPXXII/NFXVII

+ Supplement No.1)

Renewal/

'85年版ご購入のお客様に限り特価でご提供いたします。

継続ご注文: ¥18,000 (消費税別)

(Supplement No.9(USPXXI/NFXVI分)
+ USPXXII/NFXVII + Supplement No.1)

※MACS(丸善エアカーゴサービス)便にて
空輸されます。

USP XXII - NF XVII

UNITED STATES PHARMACOPEIAL CONVENTION, INC.

12601 Twinbrook Parkway, Rockville, MD 20852



※ご注文、ご照会は最寄りの書店、大学生協または弊社本・支店販売部(課)外国雑誌担当までお申し付けください。

日本総代理店



本社・日本橋店: (〒103) 東京都中央区日本橋 2-3-10 ☎(03)272-7211 振替東京7-5番

支店・営業所—東京(お茶の水・丸の内・内幸町・浜松町・アークヒルズ・渋谷・錦糸町・北千住・取手・土浦・浜松・船橋)・
千葉・八王子・松本・大宮・所沢・新羽・札幌・仙台・弘前・盛岡・郡山・筑波・水戸・横浜・名古屋・静岡・岐阜・
三重・金沢・富山・福井・京都・滋賀・大阪・神戸・姫路・岡山・松山・広島・山口・福岡・長崎・鹿児島・沖縄
/ ニューヨーク・シカゴ・ロンドン

1989年10月 通巻第270号 洋書輸入協会 編集者 柴田 三夫

☎ 103 東京都中央区日本橋1丁目21番4号 千代田会館5階20号室

☎271-6901 FAX.271-6920

☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田 1-10-2 第一山中ビル

☎371-5329